

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 242

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 4. 高齢者 現年		
事業名	老人保護措置費				
細事業名	老人保護措置費				
評価表作成者				市民福祉部 高齢福祉課	四方 厚司

1. 事業の概要

環境上の理由や経済的な理由により、居宅で養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者に対し、南丹市老人ホーム入所判定委員会における適切な審査のもと、養護老人ホーム等への入所措置を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

65歳以上の高齢者で環境上の理由や経済上の理由により在宅での生活が困難な高齢者が入所するための施設として、養護老人ホームを設置している。

② 事業を実施する必要性

住宅環境や経済的な理由等により心身を著しく害すると認められる者が、養護老人ホーム等に入所することで環境の改善が図られる。高齢化率の進行に伴い、制度の必要性は今後益々高くなる。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画	
決算額または計画額	千円	47,194	41,421	39,949	38,679	43,805	54,229	56,489	
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0	
財源内訳	使用料・手数料等	千円	9,148	8,443	7,912	8,036	7,852	10,643	11,086
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	38,046	32,978	32,037	30,643	35,953	43,586	45,403
職員等の従事人員	人/年	—	0.29	0.23	0.25				
人件費	千円	—	2,228	1,843	1,990				
事業費総額	千円	—	43,649	41,792	40,669				

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

老人ホーム等措置費	38,629,907円（扶助費）
入所判定委員会委員報酬	49,500円（報酬）

5. 事業結果の概要

養護老人ホーム等入所者数	17名（平成22年3月末）
平成22年度の入退所	入所 2名、退所 3名
入所判定委員会	3回開催（6/25、9/29、1/25）
入所者負担金収入	8,036,306円

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

地域包括支援センター及び関係機関との連携により、事案の的確な把握と事実確認を実施し、措置の決定を行ってきた。引き続き、関係機関と連携を行ない、本人に対して必要な措置を行なうこととする。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

市と包括支援センター及び関係機関と連携を行なうなか、事案の的確な把握と事実確認の上措置の決定を行ってきた。引き続き、関係機関と連携を行ない本人に対して必要な措置を行なうこととする。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
老人福祉法により市町村の責任として実施する。
- ②当該事業のアピール事業
対象者となる人があった場合は、関係課及び関係機関と調整し措置する。
- ③反省点、今後の展開・方向性
必要に応じ措置を行う。現在4施設に17名を措置している。